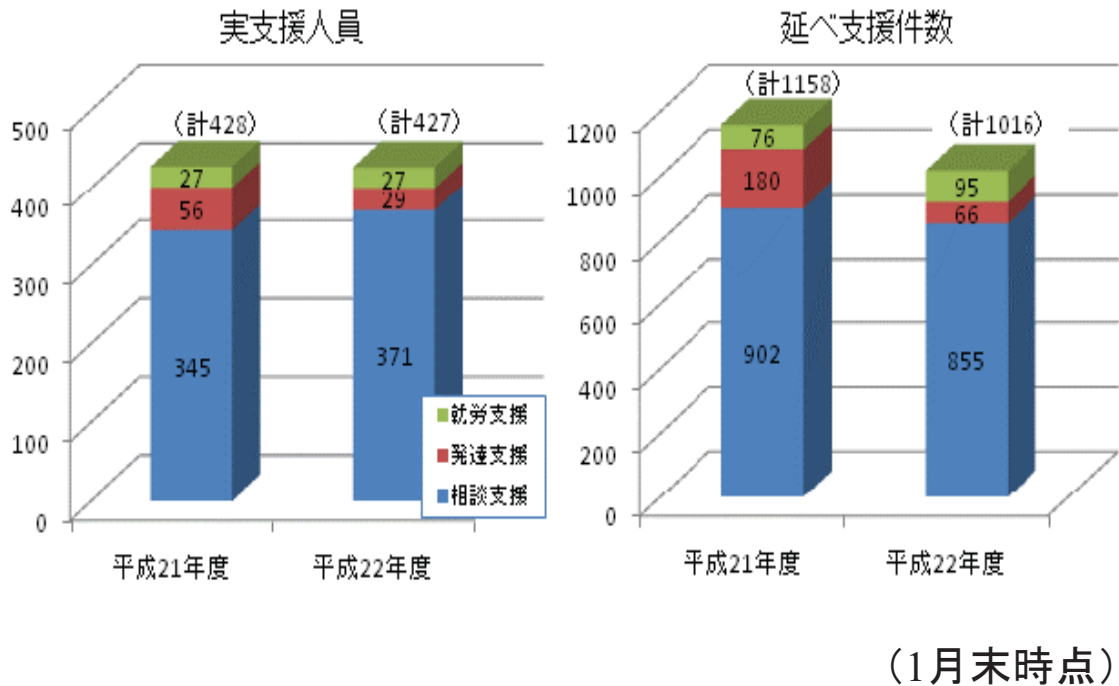


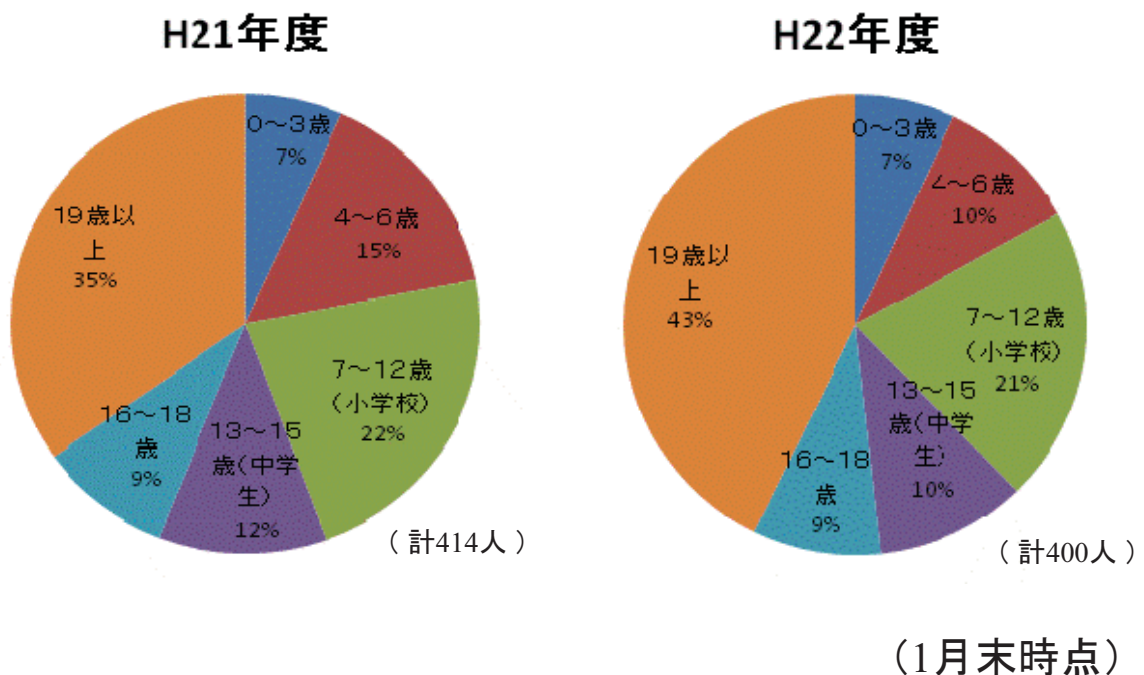
発達障害者支援センター  
平成 22 年度 支援実績  
及び  
平成 23 年度 の取組について

沖縄県福祉保健部

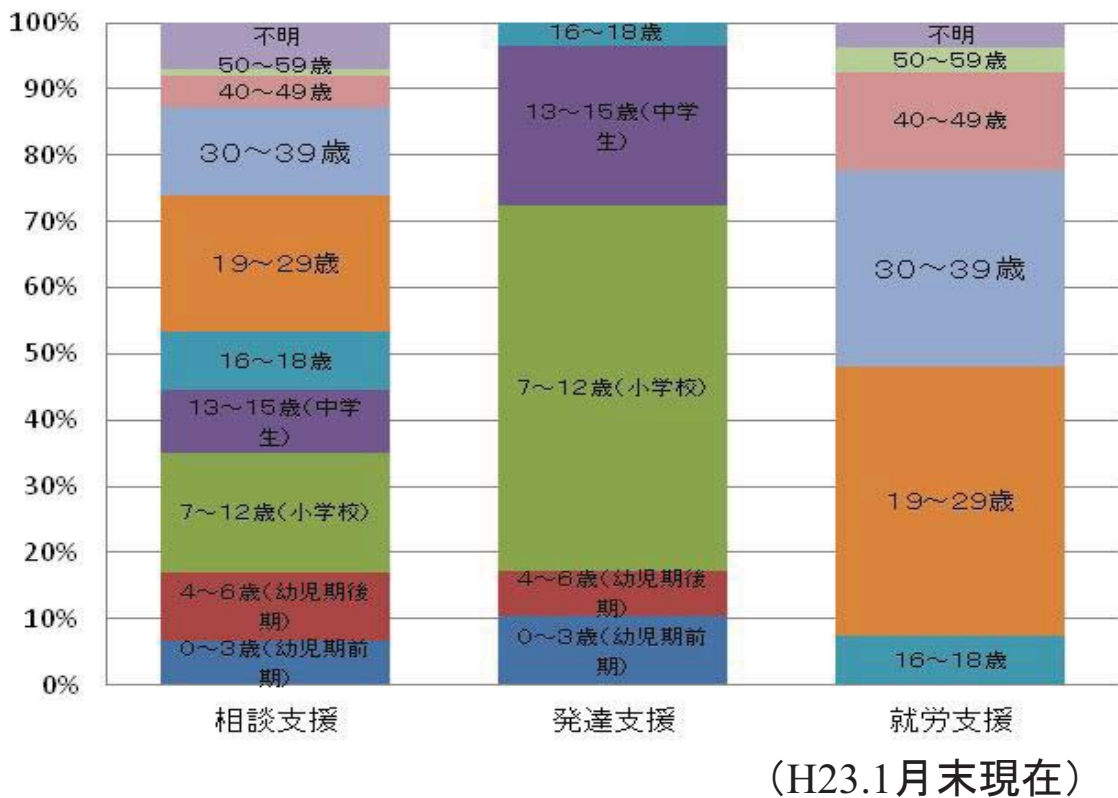
## a) センター支援件数の前年度比較



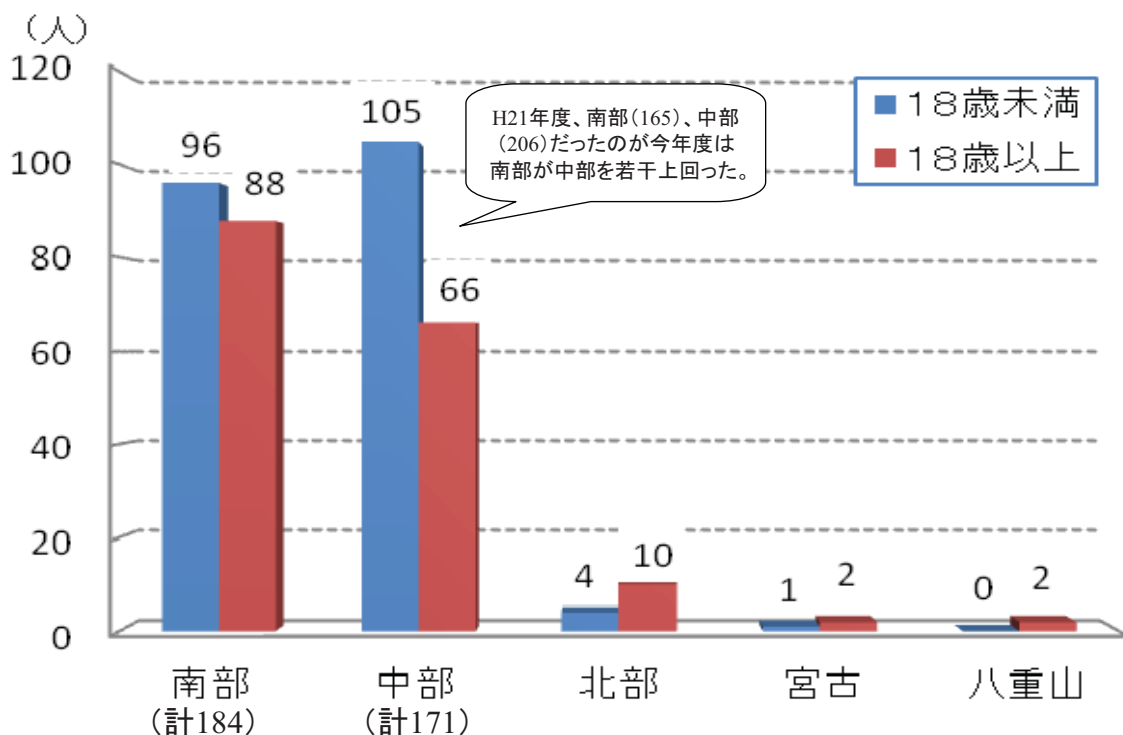
## b) 支援対象者の年齢構成 前年度比較



### c) 相談種別ごとの支援対象者の年齢層の状況



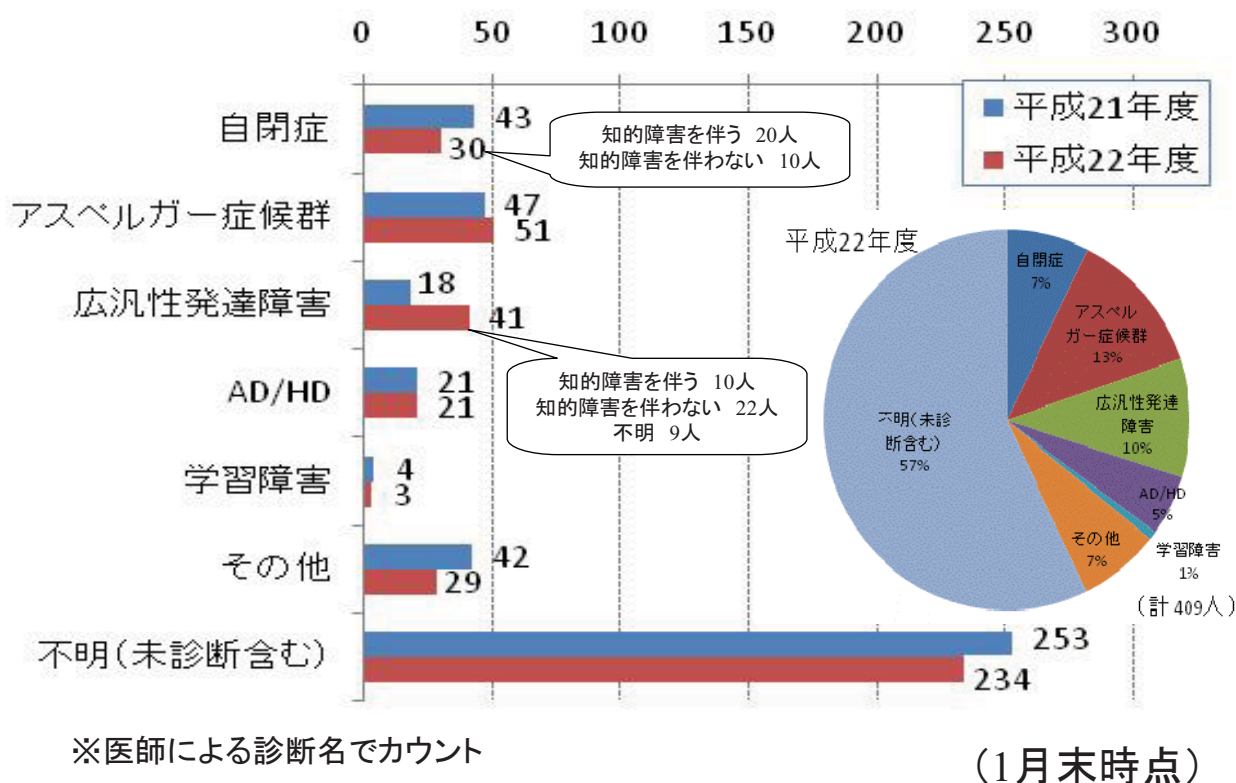
### d) 支援対象者の居住地(圏域)の状況



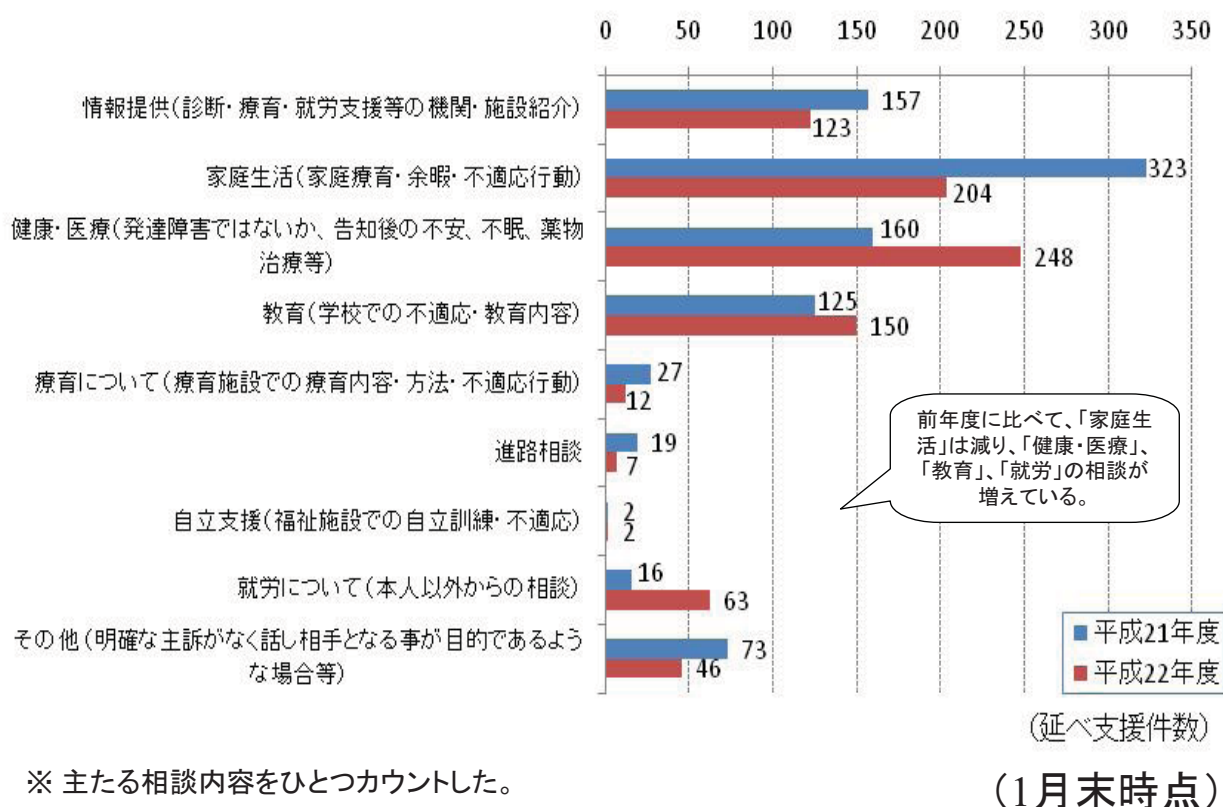
※ すべての相談種別の合計  
 ※ 圏域、年齢が不明なものは除く

(H23.1月末現在)

## e) 支援対象者の診断名の内訳 前年度比較



## f) 相談支援における相談内容の状況 前年度比較



## g) 相談支援における主たる相談者の状況

本人・家族からの相談が8割を占める。

本人	254
親・家族等	434
知人	26
保育所	4
幼稚園	1
就学前療育機関	0
小学校	13
中学校	13
高等学校	4
特別支援学校	0
専門学校・大学	0
医療機関	7

入所施設	1
通所施設	0
企業	1
ハローワーク	5
障害者職業センター	4
就労移行支援事業所	8
サポートステーション	11
相談支援専門員	30
市町村行政	16
県の相談機関	8
保健所・保健センター	6
その他	9
合計	855

延べ支援件数（H23.1月末現在）

## h) 研修等の実施状況 前年度比較

	平成21年度		平成22年度	
	実施回数	延べ参加人数	実施回数	延べ参加人数
a) センター主催で企画した研修	0	0	8	1000
b) センター共催で企画した研修	3	776	1	308
c) 講師派遣	16	1060	18	1511

(H23.3月末見込み含む)

d) 機関コンサルテーション	10	—	11	—
e) 個別支援調整会議	23	—	37	—
f) 調整会議	40	—	50	—

(1月末時点)

## 【 詳細 】

### 1. 主催研修 . . . 延べ8回

#### (1) 講演会の実施 3回

##### ① 教育関係者向け講演会 . . . 参加者 324人

日 時；平成22年10月22日（金） 15時～17時

題 目；「子どもの内面に介入し指さし導くワザとは」

講 師；米衛 政光先生（子ども家庭支援センターみらい園長・元鹿児島養護学校校長）

参加対象；特別支援学校コーディネーター、特別支援教育スーパーバイザー、特別支援教育  
コーディネーター（小・中・高）、障害児就学相談員、スクールカウンセラー等

内 容；特別支援学校における教育実践や療育施設での早期療育の実践例等を知ることにより、  
子どもの発達を踏まえた教育・療育実践について学ぶ場とする。

共 催；沖縄県立総合教育センター、社団法人沖縄県小児保健協会、沖縄県臨床心理士会

##### ② 早期発達支援に従事する支援者向け講演会 . . . 参加者 206人

日 時；平成22年10月23日（土） 10時～12時

題 目；「早期発達支援に関する最近の動向について」

講 師；土岐 篤史先生（鹿児島大学大学院臨床心理学研究科准教授・児童精神科医）

参加対象；事後教室担当者（保育士、保健師、心理士）および今後実施を検討している  
市町村職員や保健所等、市町村の発達相談等従事者、親子通園事業従事者等

内 容；発達支援の最近の動向を学び、それぞれの地域における早期発達支援のシステムの  
在り方について考える。

共 催；社団法人沖縄県小児保健協会、沖縄県臨床心理士会

##### ③ 学童保育指導員等向け講演会 . . . 参加者 187人

日 時；平成22年12月6日（月） 10時～12時

題 目；「学童保育における発達支援を考える」

講 師；土岐 篤史先生（鹿児島大学大学院臨床心理学研究科准教授・児童精神科医）

参加対象；学童保育指導員、県学童保育支援センター職員、保育士、幼稚園教諭等

内 容；学童保育所等においても、発達の気になる子ども達が増えており、学童保育指導員等の  
役割の重要性も再認識されている。発達障がいの子どもの関する基礎知識と実践的対応の  
基本について学び、学童保育指導員等の資質向上に資する研修機会とする。

共 催；沖縄県学童保育支援センター、社団法人沖縄県小児保健協会

## (2) 「乳幼児健診事後教室連絡会」の立ち上げならびに研修会の実施

### < 参加対象 >

事後教室担当者（保健師、保育士、心理士）および今後実施を検討している市町村職員や保健所職員等

### < 参加市町村 > 18市町村 1福祉保健所

糸満市、南城市、豊見城市、八重瀬町、与那原町、西原町、那覇市、浦添市、宜野湾市、沖縄市、中城村、北中城村、読谷村、嘉手納町、北谷町、うるま市、金武町、宮古島市、中部福祉保健所

#### 【第1回】 参加者 71人（17市町村および1福祉保健所）

日時；平成22年8月16日（月） 14時～16時

内容；沖縄県における事後教室の現状を踏まえ、市町村発達障害早期支援の情報交換および研修の機会とする。

#### 【第2回】 参加者 46人（13市町村および1福祉保健所）

日時；平成22年10月23日（土） 14時～16時

講師；土岐 篤史先生（鹿児島大学大学院臨床心理学研究科准教授・児童精神科医）

指定発言；米衛 政光先生（子ども家庭支援センターみらい園長・元鹿児島養護学校校長）

内容；沖縄県における事後教室の現状を踏まえ、それぞれの市町村の抱えている課題や今後取り組むべきことについて、指導助言を得る機会とする。

1) 講演「早期発達支援システムの基本について」

2) 報告… ① 事後教室実施市町村からの報告 ② 事後教室担当保育士からの報告

3) コメント（講師および指定発言講師）および質疑応答

#### 【第3回】 参加者 45人（13市町村および1福祉保健所）

日時；平成23年2月28日（月） 14時～16時

内容；沖縄県における事後教室の現状を踏まえ、市町村発達障害早期支援の情報交換および研修の機会とする。

## (3) 発達障がい支援者養成研修「アセスメント連続講座」

### ～ 『新版K式発達検査2001講習会 in 沖縄』の実施 ～

共催；社団法人沖縄県小児保健協会、沖縄県立総合教育センター、沖縄県臨床心理士会

後援；京都国際社会福祉センター

#### 【第I部】 受講者 53人

日時；平成23年1月15日（土）～1月16日（日）

講師；大東 美智子先生（童心会代表／臨床発達心理士）

小石 敦子先生（童心会）

内容；新版K式発達検査2001を使用するのに必要な知識および確かな実施技術の習得を目的に、講義および演習による実施指導を行う。

#### 【第II部】 受講者 55人

日時；平成23年2月19日（土）～2月20日（日）

講師；川畑 隆先生（京都学園大学教授／臨床心理士・「そだちと臨床」編集委員）

大島 剛先生（神戸親和女子大学教授 心理学科長／臨床心理士）

内容；発達検査を用いて、子どもをどう見立て、援助するかについて、演習等を中心に取り入れた、実践的な内容とする。

## 2. 講師派遣 . . . 延べ 18 件 (1511 人) ※ ( ) 内は参加者数

### < 保育関係 > 5 件

- ・ 平成 22 年度公立及び私立保育所長会議 (500 人)
- ・ 糸満市認可園・認可外合同研修会 (90 人)
- ・ 平成 22 年度母子保健担当者及び町内保育所保育士向け研修会 (110 人)
- ・ 平成 22 年第 3 回豊見城市障害児保育事業研修会 (160 人)
- ・ 平成 22 年度認可外保育施設等保育従事者研修会 (発達障害児支援について) (60 人)

### < 教育関係 > 7 件

- ・ 南風原町教育委員会特別支援教育研修会 (110 人)
- ・ 平成 22 年度特別支援教育スーパーバイザー養成研修会 (30 人)
- ・ 嘉手納中学校 PTA 教育講演会 (100 人)
- ・ 平成 22 年度特別支援学校コーディネーター資質向上研修 (29 人)
- ・ 平成 22 年度短期研修講座「No.53 教育アセスメント応用講座」 (21 人)
- ・ 平成 22 年度第 1 回南城市特別支援教育担当者連絡会 (40 人)
- ・ 大平特別支援学校小学部研修会 (50 人)

### < 行政関係 > 2 件

- ・ 北中城村発達障害児(者)支援体制整備に関する勉強会 (13 人)
- ・ 嘉手納町発達障害児支援研修会 (50 人)

### < その他 > 4 件

- ・ 平成 22 年度沖縄県障害者相談支援専門員現任研修 (27 人)
- ・ 第 22 回沖縄県 県立学校保健研究大会 (80 人)
- ・ 平成 22 年度人権擁護委員第二次研修 (30 人)
- ・ 就職支援センター中部 職員研修会 (11 人)

## 3. 機関コンサルテーション . . . 延べ 11 件

- ・ 西原町役場福祉課 : 乳幼児健診事後教室における対応方法への助言等 (2)
- ・ 嘉手納町役場いきいき健康課 : 乳幼児健診後フォロー体制について
- ・ 豊見城市健康推進課 : 3 歳児健診フォローとしての親子教室のあり方、運営についての助言
- ・ 豊見城市真嘉部コミュニティーセンター :  
豊見城市親子通園「あい＊あい」に対する療育内容や環境設定、支援方法等についての助言
- ・ 中城村役場 : 健診事後教室(わくわくクラブ)における療育のあり方についての助言 (2)
- ・ 宮古島市障がい福祉課 : 宮古島市発達障害児者支援室「ゆい」業務全般への助言 (2)
- ・ 西原町立西原南小学校 : 対応方法および保護者へのアドバイス、関わり方への助言
- ・ 那覇市立首里中学校 : 首里中学校、生徒への対応方法への助言



## 4. 調整会議（地域支援体制整備構築のための関係者連携会議）・・・ 延べ 61 回

\* 以下、いくつかを抜粋

### < 福祉 >

- ・ 中部地区障害者関係機関ネットワーク会議（3回）
- ・ 南部圏域相談支援従事者連絡会議（2回）
- ・ 中部圏域相談支援専門員研修会（3回）
- ・ 南部地区障害者自立支援連絡会議「療育・教育部会」（4回）
- ・ 中部圏域障害者自立支援連絡会議「療育・教育部会」

### < 教育 >

- ・ 平成 22 年度 沖縄県広域特別支援連携協議会（2回）
- ・ 第 1 回特別支援教育市町村連絡協議会
- ・ 平成 22 年度総合教育センター・発達障害者支援センター連絡会議（3回）
- ・ 沖縄県立総合教育センター障害児教育相談事例検討会（4回）
- ・ 南城市における特別支援教育の支援体制に関する会議

### < 就労 >

- ・ 障害者職業センターとの定例会議（9回）
- ・ 障害者雇用連絡会議（南部、中部、北部 各1回）
- ・ 美咲特別支援学校 職業自立地域推進協議会（2回）
- ・ 沖縄県若者自立支援ネットワーク連絡会議
- ・ 中部圏域障害者自立支援連絡会議「就労部会」
- ・ 大学における発達障害傾向を有する学生への就職支援に向けた検討会（琉球大学）
- ・ 連携に関する会議（日経就職でき〜る、沖縄 TA センター）

### < 市町村（支援体制構築に向けて） >

- ・ 宜野湾市：平成 22 年度第 1 回発達障害児・者関係機関連絡会議「つながり」（2回）
- ・ 沖縄市：沖縄市障がい児支援担当者連絡情報交換会議
- ・ 中部圏域市町村における発達障害児支援体制検討委員会（社団法人沖縄県小児保健協会）

### < その他 >

- ・ 医療機関（外来精神科医会「三日月会」）との情報交換会
- ・ 県福祉人材育成体制構築事業関係者会議（4回）
- ・ 平成 22 年度おきなわ子どもを守るネットワーク（沖縄県要保護児童対策協議会；第1回代表者会議）
- ・ 人材養成に向けた県内大学等との連携会議（沖縄キリスト教学院大学）
- ・ 「健やか親子おきなわ 2010」推進専門部会（2回）
- ・ 平成 22 年度沖縄県発達障害者支援体制整備委員会
- ・ 沖縄県発達障害児（者）支援機関実務者会議（2回）

## 5. その他

### (1) 職員の資質向上に関すること等

- ・ おきなわ発達研究会 発達基礎講座 2010 連続講座（第 1～3 講義）
- ・ 第 28 回全国障害者問題研究会九州ブロック研究集会佐賀大会
- ・ 全国障害者問題研究大会第 44 回全国大会愛知 2010
- ・ 第 51 回日本児童青年精神医学会総会（群馬県）
  
- ・ 第 101 回新版 K 式発達検査講習会（京都国際社会福祉センター）
- ・ K 式発達検査を用いた発達援助セミナー Stage2（京都国際社会福祉センター）
- ・ 第 5 回 WAIS-III 成人知能検査技術講習会（東京都）
  
- ・ 平成 22 年度 就業支援基礎研修
- ・ 沖縄県中部・北部地域就労支援ネットワーク強化・充実セミナー
- ・ 平成 22 年度職業リハビリテーション推進フォーラム
  
- ・ 第 18 回職業リハビリテーション研究発表会（千葉県；障害者職業総合センター）
- ・ 平成 22 年度第 1 回発達障害者就業支援セミナー（千葉県；障害者職業総合センター）
- ・ 平成 22 年度第 2 回発達障害者支援センター職員研修会（埼玉県；国立秩父学園）

### (2) 発達障害児（者）支援に関する施設見学・視察等 . . . 6カ所

- ・ 鹿児島県こども総合療育センター（鹿児島県発達障害者支援センター）
- ・ 鹿児島市子ども家庭支援センターみらい
- ・ 名古屋市発達障害者支援センターりんくす
- ・ 長野県発達障害者支援センター
- ・ 千葉県発達障害者支援センターCAS
- ・ 豊田市こども発達センター視察研修

### (3) 全国会議等

- ・ 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部主催「発達障害者支援関係報告会」（東京都）
- ・ 平成 22 年度「発達障害者支援センター全国連絡協議会」総会・実務者研修（広島県）
- ・ 平成 22 年度 発達障害者支援センター九州・沖縄ブロック連絡協議会（大分県）

## 沖縄県発達障がい者支援センター 平成 23 年度に向けた取り組みについて

県内では発達障害診療を行う医療機関や専門機関が限られており、市町村など地域における支援体制の整備にも課題がある。また、各分野に共通して、人材確保や人材育成、現任者の資質向上等が喫緊の課題となっており、それらの解決に向けて取り組むことが当センターにも望まれていると考えている。

そこで、以下を 22 年度の重点取り組み課題とし、23 年度も継続して取り組む予定である。

### 1. 人材育成に向けた取り組み

#### ①「発達障がい支援者養成研修」の開催

県人材育成計画に基づき、「発達障がい支援者養成研修」を開催し、専門支援員等の養成・人材確保および現任者の資質向上に努める。

「発達障がい支援者養成研修」の一環として 22 年度は『アセスメント連続講座』（資料①参照）を開催し、23 年度は『児童精神医学連続講座』（資料②-1,2 参照）も開始する予定である。

いずれの講座も、受講者は「受講者リスト」に登録し、今後、県内における発達障害支援の体制整備へ連携・協力してもらう予定となっている。

#### ② 講演会・研修会等の開催

23 年度に予定している主催の講演会・研修会等については、資料③参照。

### 2. 早期発達支援システムの体制整備

「乳幼児健診事後教室連絡会」ならびに研修会の開催

県内の各市町村における健診事後教室担当者（保育士、保健師、心理士等）や保健所職員を対象に事後教室の現状を踏まえ、市町村発達障害早期支援の情報交換および研修の機会としている。

今後、事後教室等、発達障害児への早期支援を実施する予定の市町村にも参加を促し、教室立ち上げ準備などの支援を行っていく。

### 3. 成人期支援の体制構築に向けて（※は現在調整中の事項）

#### ① 支援体制の強化（専門家による助言）

沖縄県発達障害者支援体制整備委員会の労働分野の委員でおられる、名護学院の崎濱秀政氏より月 1～2 回の頻度で当センターの成人期支援の実状を報告し、特に体制構築に向けた取り組みに関して助言を受ける方向で承諾を得ている。

#### ② 関係機関等への周知

直接的支援については関係機関との連携のもとに進めていく必要があるが、センターの事業内容が関係機関に十分に周知されておらず、認識にばらつきがあることが連携構築における課題となっている。

そこで、短期的な重点目標として、再度センターの事業内容を明確化して関係機関に周知を図り、その上で現場レベルでの連携を構築していきたいと考えている。

また、それと並行して、成人期の発達障がいに関する研修を企画していきたい。

#### ※ 大学等における発達障がい傾向を有する学生に対する支援体制構築に向けて

次年度、取り組みの足掛かりとして、琉球大学の教職員を対象とした発達障がいに関する啓発の研修を実施する予定である。

## ※ 地域若者サポートステーションとの連携強化に向けて

最近は特にサポステ沖縄から当センターを紹介されるケースが増えており、今後も増加の一途をたどることが予想される。当センターでの直接支援に物理的な限界があるため、今後どのように支援及び連携をしていくかについて情報交換会を開催する予定である。

## 4. 関係機関等とのネットワーク強化

### ① 教育領域

今年度5月より県立総合教育センターと合同で定例連絡会議を毎月開催してきたが、次年度も引き続き開催予定である。また、「特別支援教育コーディネーター研修」等をはじめとする研修会への協力（講師派遣）等も行ってきたが、23年度も必要に応じて相互に連携・協力していく予定である。

### ② 福祉領域

相談支援専門員や各圏域のアドバイザー等との連携を密に図り、障害者自立支援連絡会議等を活用しながら、それぞれ地域の課題を集約し支援体制構築を目指して取り組んでいきたい。

### ③ 医療領域

今年度10月に、各医療機関とのネットワーク作りの足掛かりを目指して外来精神科医会との情報交換会を行ったが、今後もさらにネットワークを拡げていきたいと考えている。

発達障害診療を行う医療機関の不足やコメディカルスタッフ等の人材確保も大きな課題となっており、23年度は医療領域に従事する医師・コメディカルスタッフを対象とした連続講座（「児童精神医学」）を予定している。それらの開催を通して、医療機関の十分数の確保、医療機関マップ及び人材バンク作成を目指し、取り組んでいきたい。

## 5. 情報発信の機能強化

平成22年3月にホームページを立ち上げ、5月からは本格運用とし、研修情報や発達障害診療を行う医療機関リスト（県障害福祉課作成）等の情報発信に取り組んできた。

しかし、現在の医療機関リストだけでは十分な情報が得られないという利用者や関係機関からの要望もあることから、医療機関リストの見直しに加えて、保健・福祉・教育分野の支援機関一覧リストの作成も検討していく予定。

また、利用者および支援機関の関係者に対して、迅速かつ適切な情報提供ができるよう、今後も取り組んでいく。

## 6. その他

### ① 世界自閉症啓発デーに向けた取り組み

22年度は、当事者団体（沖縄自閉症協会）と共に啓発を目的とした冊子『自閉症ってなんだろう？』を作成・発行した。23年度は同団体とフォーラム（資料④参照）を開催予定で、現在その準備に取り組んでいる。

### ② ペアレントメンター養成講座に向けての準備

当センターに今後望まれている役割のひとつに、当事者団体と協力の上でのペアレントメンターの養成やそのコーディネートがあげられる。今年は開催通知が直前だったこともあり「ペアレントメンター養成講座」に参加できなかったが、23年度は求められる役割に十分応えていけるよう、当センター職員も養成研修に受講し、準備をすすめていく必要があると考えている。

## 沖縄県発達障害者支援センター発達障がい支援者養成研修

### 「アセスメント連続講座」実施要綱

#### 〔 目的 〕

発達障がいを持つ方々への支援体制の更なる充実を目指し、この領域において、今後、指導的役割を果たす人材を養成することを目的とする。

アセスメント連続講座においては、県内において全国水準の研修を継続的に開催し、現任者の資質向上および確かな専門性を持った人材を養成することによって、指導的役割を果たす人材の確保につなげ、県内で安定した人材育成のできる基盤を整える。

#### 〔 期間 〕

平成 22 年度～23 年度

#### 〔 講師 〕

◆ 平成 22 年度「新版 K 式発達検査 2001 講習会 in 沖縄」

大東 美智子（京都国際社会福祉センター協力団体「童心会」代表／臨床発達心理士）

小石 敦子（京都国際社会福祉センター協力団体「童心会」／発達相談員）

川畑 隆（京都学園大学教授／臨床心理士）

大島 剛（神戸親和女子大学心理学科長 教授／臨床心理士）

◆ 平成 23 年度・・・未定

#### 〔 参加対象および参加条件 〕

- ・発達検査や知能検査等を用いた発達評価および発達相談等に従事している者およびその予定者で、既に基礎的な知識と一定の技術を有している者
- ・県内における今後の発達障がい児者支援に関する体制強化等に協力できる者。
- ・受講後は、受講修了者リストに登録し、今後、県内における人材養成研修等で講師等を務めることのできる者。

#### 〔 方法 〕

県内の発達障害者支援に関わる各関係機関（職能団体や専門機関、大学、NPO 等）および県障害保健福祉課との協力のもと、沖縄県発達障害者支援センターが研修プログラムの提案や講師招聘等の調整およびコーディネート等を行う。

## 沖縄県発達障害者支援センター発達障がい支援者養成研修

### 「児童精神医学連続講座」実施要綱（案）

#### 〔 目的 〕

発達障がいを持つ方々への支援体制の更なる充実を目指し、この領域において、今後、指導的役割を果たす人材を養成することを目的とする。

児童精神医学連続講座においては、県内において全国水準の研修を継続的に開催し、現任者の資質向上および確かな専門性を持った人材を養成することによって、指導的役割を果たす人材の確保につなげ、県内で安定した人材育成のできる基盤を整える。また、県内において発達障がい診療を行う医療機関の十分数の確保および各機関のネットワークの更なる構築を目指す。

#### 〔 期間 〕

平成 23 年度

#### 〔 講師 〕

杉山 登志郎（浜松医科大学児童青年期精神医学講座 特任教授/児童精神科医）

高橋 脩（豊田市子ども発達センター長・豊田市福祉事業団副理事長/児童精神科医）

土岐 篤史（鹿児島大学大学院准教授/児童精神科医/臨床心理士）

#### 〔 参加対象および参加条件 〕

- ・ 県内の医療機関および専門相談機関等に従事している者で、既に基礎的な知識と一定の臨床経験を有している者。
- ・ 受講後は受講修了者リストに登録し、県内における人材養成研修等で講師等を務めることのできる者。
- ・ 県内における今後の発達障害児者支援に関する体制強化等に協力できる者（アンケート等への回答を含む）。

※受講者（医師以外）は所属機関長より、必要に応じて機関として協力できるよう了解を得ていること。

#### 〔 方法 〕

県内の発達障害支援に関わる各関係機関（職能団体や専門機関、大学、NPO 等）および県障害保健福祉課や沖縄小児保健協会との協力のもと、沖縄県発達障害者支援センターが研修プログラムの提案や講師招聘等の調整およびコーディネート等を行う。

沖縄県発達障がい者支援センター発達障がい支援者養成研修

＜ 児童精神医学連続講座コース（案） ＞

1. 「児童精神医学の最前線（仮）」の開催について

日 時；23年5月28日（土） 19時～21時  
講 師；杉山 登志郎先生（浜松医科大学児童青年期精神医学講座 特任教授/児童精神科医）  
参加対象；医師（小児科医および精神科・心療内科医等）、心理士等の関係専門職  
内 容；児童精神医学、特に発達障害診療に関する最新の知見について学ぶ。  
場 所；未 定  
主 催；沖縄県発達障がい者支援センター、社団法人沖縄県小児保健協会  
共 催（予定）；沖縄県総合精神保健福祉センター、沖縄県臨床心理士会  
後 援（予定）；沖縄県小児科医会、沖縄県外来精神科医会、こどものこころの臨床研究会

2. 「児童精神科臨床の実際（仮）」の開催について

日 時；23年7月9日（土） 午後  
講 師；高橋 脩先生（豊田市子ども発達センター長・豊田市福祉事業団副理事長/児童精神科医）  
参加対象；医師（小児科医および精神科・心療内科医等）、心理士等の関係専門職  
内 容；講師のモデル診療への陪席研修を行い、発達障害診療における患児及び家族との面接や  
診断・治療計画等について実践的に学ぶ。  
主 催；沖縄県発達障がい者支援センター、社団法人沖縄県小児保健協会  
共 催（予定）；沖縄県総合精神保健福祉センター、沖縄県臨床心理士会  
後 援（予定）；沖縄県小児科医会、沖縄県外来精神科医会、こどものこころの臨床研究会

3. 「こどものこころの臨床（仮）」の開催について

日 時；23年9月頃を予定（現在、調整中）  
講 師；土岐 篤史先生（鹿児島大学大学院准教授/児童精神科医/臨床心理士）  
参加対象；医師（小児科医および精神科・心療内科医等）、心理士等の関係専門職  
内 容；発達障がい臨床を含むこどもの心の臨床に携わるうえで知っておくべき児童精神医学  
の知識や関係諸領域についての知見を深める。  
主 催；沖縄県発達障がい者支援センター、社団法人沖縄県小児保健協会  
共 催（予定）；沖縄県総合精神保健福祉センター、沖縄県臨床心理士会  
後 援（予定）；沖縄県小児科医会、沖縄県外来精神科医会、こどものこころの臨床研究会

## ＜ 平成 23 年度に実施予定の研修・講演会等 ＞

### 1. 講演会「そだちの臨床（仮）」

日 時；23 年 5 月 29 日（日）

講 師；杉山 登志郎先生（浜松医科大学児童青年期精神医学講座 特任教授/児童精神科医）

参加対象；医療・保健・教育・保育・福祉・心理職等で関心のある者、保護者および一般

内 容；県内における発達障害児・者への支援システムと特別支援教育の更なる充実を目的に、  
児童精神医学、特に発達障害に関する最新の知見について学ぶ。

共 催；社団法人沖縄県小児保健協会

後 援（予定）；沖縄県総合精神保健福祉センター、沖縄県外来精神科医会、沖縄県小児科医会、  
沖縄県臨床心理士会、こどものこころの臨床研究会、沖縄県立総合教育センター、  
沖縄県教育委員会

### 2. 講演会「子どもの育ちと支援」

日 時；23 年 7 月 10 日（日）

講 師；高橋 脩先生（豊田市子ども発達センター長/児童精神科医）

参加対象；保護者および一般、医療・保健・教育・保育・福祉・心理職等で関心のある者

内 容；障がいのある子どもの発達と支援の在り方について学ぶ場とする。



## 世界自閉症啓発デー・発達障がい啓発週間 2011 in おきなわ

### — 開催要綱 —

#### 1. 趣旨

平成19年12月18日の国連総会において、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」とすることが決議され、世界各国において自閉症に関する啓発の取組を実施することが要請されています。

これに対応し、我が国でも世界自閉症啓発デー・日本実行委員会が組織され、自閉症をはじめとする発達障害について、広く啓発する活動が行われていますが、啓発活動に際しては、さらに多くの地域で取り組まれることが求められています。

そこで、本県においても1人でも多くの皆様に自閉症について理解していただくことで自閉症ならびに発達障害の人々にとって暮らしやすい社会となることを願い、広く一般県民への普及啓発を図ることを目的としています。

#### 2. 日時

平成23年4月2日（土）9時～17時

#### 3. 場所

浦添市てだこホール 大ホール

#### 4. 対象者

一般県民、県及び市町村関係職員、各種団体職員等

#### 5. 入場料 : 一人500円（乳幼児は無料）

#### 6. 内容

##### (1) 映画『ぼくはうみがみたくなりました』上映会

自閉症児の父親である脚本家・山下久仁明氏が「一人でも多くの人たちに自閉症のことを知って欲しい」という想いが形となった映画「ぼくはうみがみたくなりました」を沖縄県で初上映します。

ひとりの自閉症の青年と、その周囲の人々が織り成す、心温まるヒューマン・ドラマです。

##### (2) フォーラム（ミニシンポジウム） ～ 原作者 山下久仁明氏をお招きして ～

原作者の山下久仁明氏の講話ならびに、県内の当事者（本人、保護者）からのメッセージ

##### (3) 発達障害児・者の作品等の展示

発達障害の啓発のため、ポスター、リーフレット、発達障害児・者の作品等の展示を行う。

#### 7. 主催 : 沖縄県自閉症協会、沖縄県小児保健協会

沖縄県発達障害者支援センター がじゅま〜る

共催 : 浦添市

後援 : 沖縄県福祉保健部（予定）

沖縄県教育委員会（予定）